

Operaブラウザバックアップ方法

インターネットスイートであるOperaブラウザにはお気に入り以外にもバックアップすべきファイルが複数あります。今回は一般的なブラウジングに必要なバックアップファイルをご紹介します。

設定ファイルのある場所は隠しフォルダを表示する必要があります。フォルダオプションから隠しフォルダを表示するようにし、バックアップはOperaを終了した状態で行ってください。

※ここで紹介するフォルダはデフォルト設定の保存場所です。

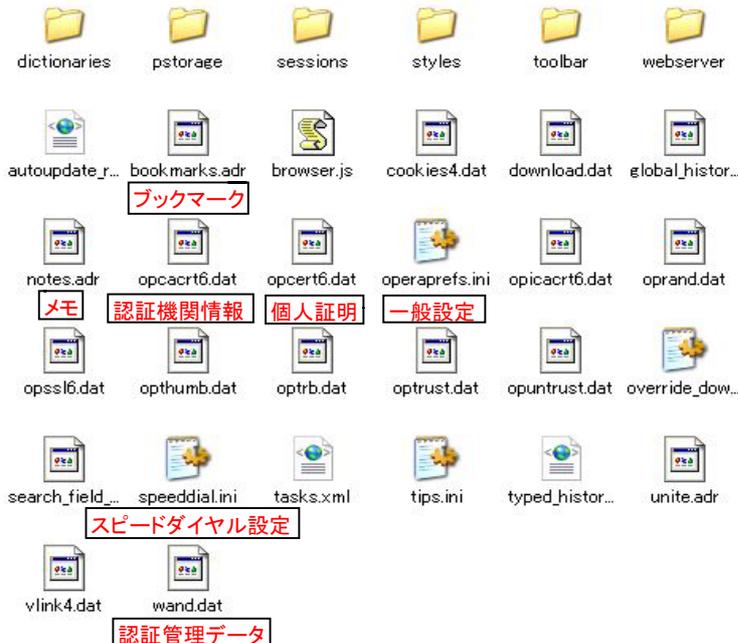
WindowsXPにおけるOpera設定ファイル保存場所

C:\Documents and Settings\ユーザー名\AppData\Local\Opera\Opera\インストールフォルダ

Windows 7/VistaにおけるOpera設定ファイル保存場所

C:\ユーザー名\AppData\Roaming\Opera\Opera\インストールフォルダ

インストールフォルダを開くと次のようなファイルが表示されます。



一般的なブラウジングに必要なファイルは最低、上記の7つは必要だと思われます。ただ、人によってはバックアップするファイルが増える可能性もありますのでこのフォルダ丸ごとバックアップしておくのが一番です。

設定ファイル詳細

- ・urlfilter.ini=コンテンツのブロック
 - ・bookmarks.adr=ブックマーク (バージョンによってはopera6.adr)
 - ・opcacrt6.dat=認証機関情報
 - ・contacts.adr=アドレス帳
 - ・operaprefs.ini=一般設定 (バージョンによってはopera6.ini)
 - ・notes.adr=メモ
 - ・opcert6.dat=個人証明書
 - ・search.ini=検索
 - ・override.ini=サイトごとの設定
 - ・speeddial.ini=スピードダイヤル
 - ・wand.dat=認証管理データ
 - ・widgets.adr=Opera ウィジェット (別途Local App内のwidgetsフォルダも必要)
- 青文字が最新版での設定ファイルです、一部旧verでは()で表したファイル名の場合もあります旧バージョンから最新版にバックアップを移行する時は青文字に合わせてリネームしてください

ここでバックアップしたファイルは、適応したいOperaの設定フォルダに移せば移行完了できますOperaのmailを使っている場合のメールデータフォルダはLocal Appフォルダにありますがここでは一般的なブラウジングバックアップのみに絞っていますので省略します。